

Week of July 26 , We Uphold the Law Through Faith　　Small Group Study 10

知り合う

何か得意なことについて『私、これ得意なんだよね』と自慢したのに、恥ずかしいほどに大失敗したことはありますか？ そのとき、平気なフリをして誤魔化そうとしましたか？ それとも、大げさであったことを正直に認めましたか？

聖句　ローマの信徒への手紙 3:27-31（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

27 では、誇りはどこにあるのか。それは取り去られました。どんな法則によってか。行いの法則によるのか。そうではない。信仰の法則によってです。28 なぜなら、私たちは、人が義とされるのは、律法の行いによるのではなく、信仰によると考えるからです。29 それとも、神はユダヤ人だけの神でしょうか。異邦人の神でもないのですか。そうです、異邦人の神でもあります。30 実に、神は唯一だからです。この神は、割礼のある者を信仰のゆえに義とし、割礼のない者をも信仰によって義としてくださるのです。31 それでは、私たちは信仰によって、律法を無効にするのか。決してそうではない。むしろ、律法を確立するのです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 27節によると、人間の「誇り」はどうなりますか？ それを除外（排除）するのは、具体的にどのような「法則（原則）」ですか？

2. 28節で、パウロは人が義と認められる（神との正しい関係に入れられる）方法をどのように明確に要約していますか？また、その義認において「律法の行い」はどのような役割を果たしますか？

3. 29～30節によると、神は特定のグループだけの神ですか？ 神は唯一であるため、割礼のある者（ユダヤ人）と無割礼の者（異邦人・その他のすべての人）を、それぞれどのようにして義とされますか？

4. 31節で、パウロは私たちの信仰と律法についてどのような質問を投げかけていますか？ 私たちが律法を無効にしたり破壊したりするのではなく、私たちはどのようにして律法を確立する（成り立たせる）のでしょうか？

分かち合い

話し合い　その１

武牧師は10円多くお釣りをもらって罪悪感を感じていた時に、全品100円のポスターを見てそれを信じたことで完全な平安を得たという話を分かち合いました。このポスターを信じるという単純な行動は信仰の法則をどのように表していますか。私たちが自分の罪や欠点による罪悪感に苦しむとき、イエス様の特別オファーである福音を心から信じることはどのようにして私たちに永続的な平安をもたらしてくれるでしょうか。

話し合い　その2

北海道の酪農場でのエピソードで、武牧師はトラックのドアを壊した弁償として給料を差し引かれることを覚悟していましたが、農場主は彼に寛大な赦しを示しました。この恵みがあったからこそ、彼は他の学生と一緒に不平を言う資格など自分にはないと悟ったのです。

私たちが自分の功績ではなく、ただ恵みによって救われたことを思い出すとき、自慢する心や他人を批判したくなる気持ちはどのように打ち砕かれるでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。